

令和3年度 仙台管内社会教育拠点施設（公民館等）訪問 名取市 増田公民館 「命のバトン」



1・2年生から4名が代表となり、仙台ターミナルケアの会の講師と対面してお話しました。

名前の由来から親や家族の思いを知り、親になること、家族をもつことについて考えを深めました。

教室のテレビ画面で動画を視聴しています。講師が熱心に語られていることを真剣に聞いています。メモを取りながら聞いている生徒もいました。



校内放送で講師のお話を聞きながら、親になるという重要性や命の大切さを学びました。中学生は、家族として赤ちゃんを迎える準備や子育ての大切さを学んでいました。



「命のバトン」は名取市の公民館事業の一つです。震災後、学校の余裕教室を利用しながら始めました。名取市内の学校を中心に開催されています。内容は、「家庭教育」や「若い」についてです。仙台ターミナルケアの会の方々などが、講師をしてくださっています。

昨年度は、コロナウィルス感染防止のため、この授業が行われませんでした。今年、開催方法を公民館と学校で検討した上で、増田中学校で行われました。講義で使用する動画は通信機器を使い、各教室にあるテレビで1・2年生が視聴し、後半は放送による講義となりました。